



# 2025年度 事業戦略説明会

エネルギー事業本部

2025年5月27日

01	事業概要	P.3
02	2024年度の振り返り	P.6
03	2025年度 経営計画	P.8
	市場動向	P.9
	事業方針・事業計画	P.10
	重点施策	P.11
	設備投資・研究開発	P.17

# 01 事業概要

## エネルギーの安定供給、最適化、安定化に貢献

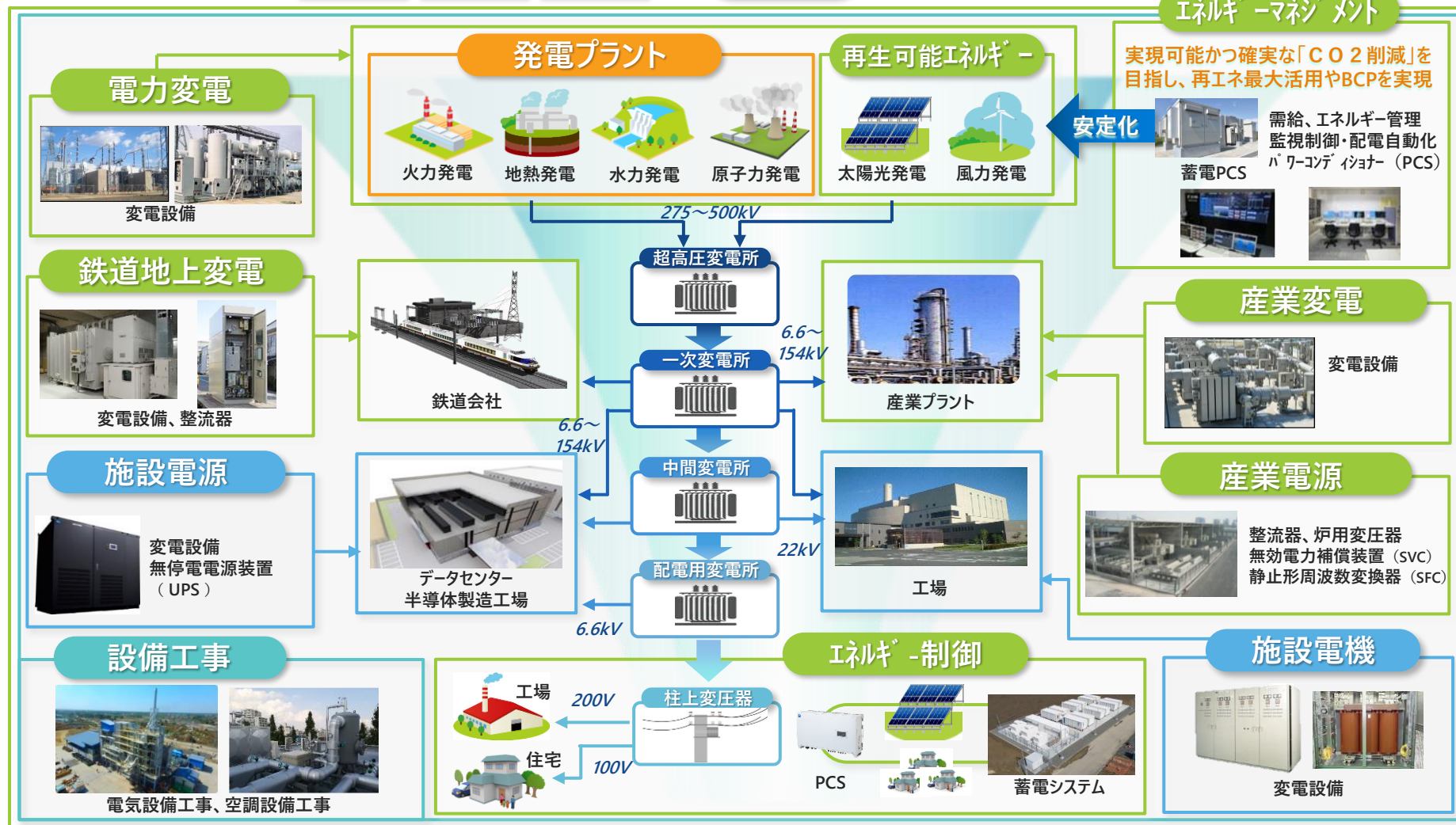
エネルギーを **つくる** **はこぶ** **ためる** + **制御する**

発電プラント

施設・電源システム

エネルギー・マネジメント

設備工事



## エネルギーの安定供給、最適化、安定化に貢献

### 設備工事（※国内 99% / 海外 1%）

プラント工事業  
（電気設備工事）



内線・建築工事業  
（電気設備工事）



空調設備工事

2024年度 売上高 **11,234 億円**

エネルギー (32%)	インダストリー (36%)	半導体 (21%)	食品流通 (10%)	他
----------------	------------------	--------------	---------------	---

エネルギー売上高

2024年度  
実績 **3,543 億円**

（※国内74% / 海外26%）

### 発電プラント（※国内 71% / 海外 29%）

世界シェア  
1位※

国内シェア  
トップグループ



地熱発電設備



水力発電設備



原子力関連機器  
燃料取扱設備・廃棄物処理

### 施設・電源システム（※国内 62% / 海外 38%）

国内シェア  
トップグループ



無停電電源装置  
(UPS)

国内シェア  
トップグループ



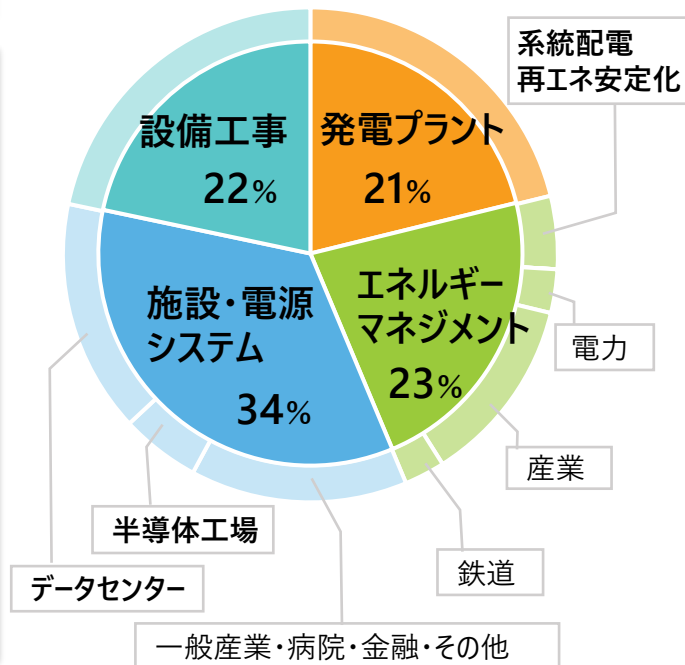
モールド変圧器



電機盤



スキッドシステム  
(変圧器盤 + 入力盤 + UPS + 出力盤)



### エネルギー・マネジメント（※国内 79% / 海外 21%）



太陽光発電  
システム



エネルギー・マネジメント  
システム (EMS)



パワーコンディショナ  
(蓄電PCS)



(大容量整流器)  
産業電源



(大容量変圧器)  
電力変電



(受変電設備)  
産業変電

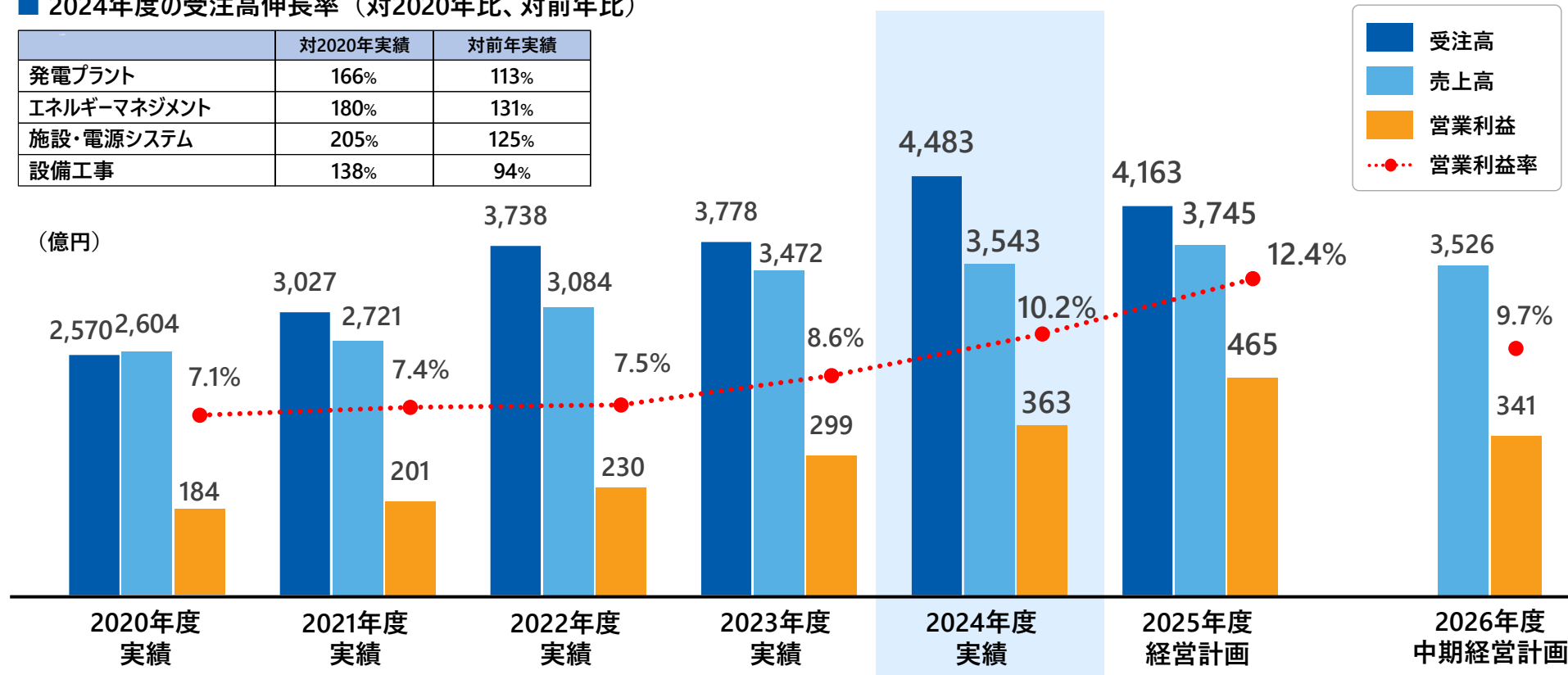
※シェアは2024年度実績、当社推定 ※売上構成比は2024年度実績。  
セグメント間の内部取引等を消去・調整する前の金額に基づき算出。

## 02 2024年度の振り返り

## 再エネ、データセンター（IDC）向け設備投資の増加を背景に、受注が大きく伸長

■ 2024年度の受注高伸長率（対2020年比、対前年比）

	対2020年実績	対前年実績
発電プラント	166%	113%
エネルギーマネジメント	180%	131%
施設・電源システム	205%	125%
設備工事	138%	94%



### 成果

- 発電設備・変電機器・IDC向け機器などの受注拡大
- 2024年度売上高、営業利益は2026年度中期経営計画を上回る

### 課題






- 大型プロジェクト管理強化
- 受変電機器の生産能力増強

※2023年度以前の実績は、2025年度の事業組替を簡易的な組替により算出した参考数値です。

## 03 2025年度 経営計画



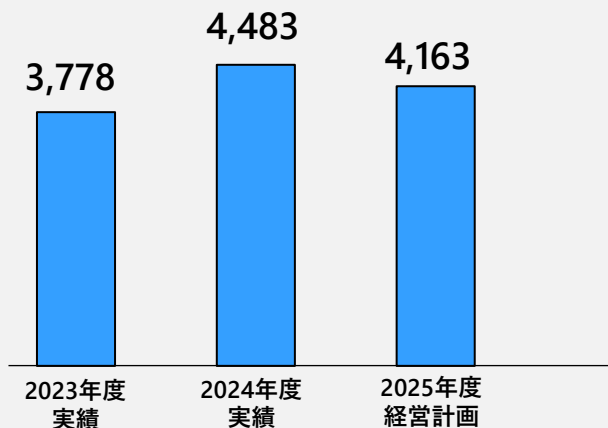
## 脱炭素化に向けた取り組みの加速と、デジタル化がもたらす更なる電力需要を背景に 多くの事業分野で需要の拡大が継続する見通し

サブセグメント	市場動向（2025年度 対前年）		
発電 プラント	再エネ・脱炭素	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環太平洋諸国など地熱開発国でも需要継続</li> <li>・ 老朽化設備のS&amp;B需要継続、揚水発電の検討が活発化</li> <li>・ 脱炭素関連発電設備の投資拡大</li> </ul>	
エネルギー マネジメント	エネマネ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再エネ拡大による系統安定化のニーズ拡大</li> <li>・ 系統蓄電池は各種市場開設により急激に伸長中</li> <li>・ 大規模太陽光システムは減少</li> </ul>	
	変電システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高度成長期の納入機器の更新需要の継続・拡大</li> <li>・ 既存生産プロセスの脱炭素化(電化・燃料転換)に向けた需要拡大</li> </ul>	
施設・ 電源システム	データセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタル化の進展やAI活用の加速が牽引しIDC設備需要は堅調</li> <li>・ 大規模DC・小規模エッジDCともに新設・拡張のニーズが継続</li> </ul>	
	半導体工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産能力増強や生産拠点分散化に伴い新設、増設投資は継続</li> </ul>	

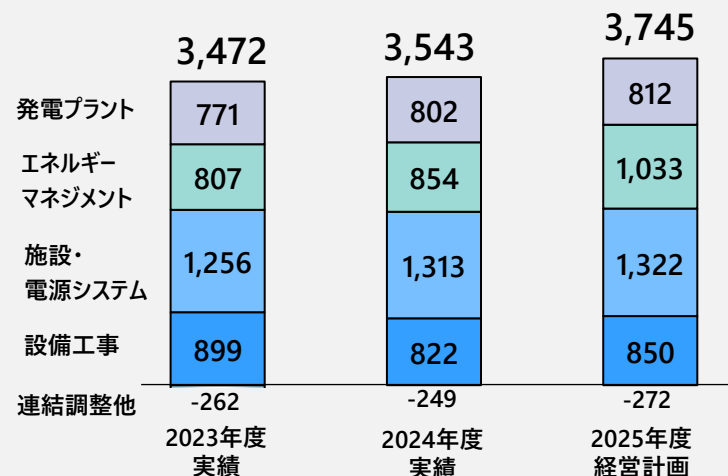
※設備工事の市場動向は各サブセグメントに含まれる

## エネルギーの安定供給、最適化、安定化技術を通じて事業拡大を図る

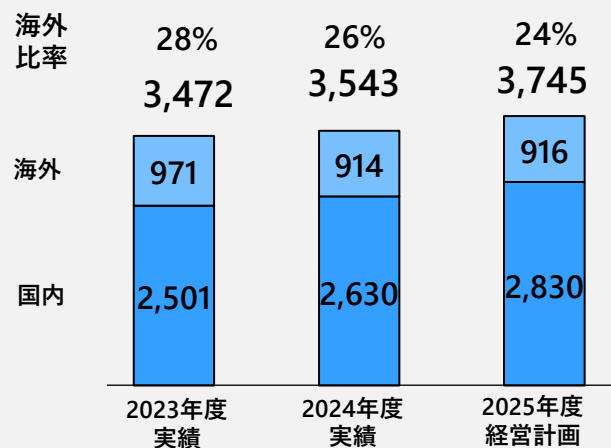
セグメント別受注高 (億円)



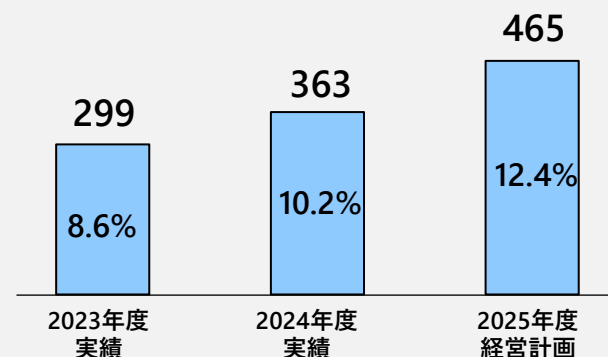
サブセグメント別売上高 (億円)



国内・海外売上高 (億円)



営業利益・営業利益率 (億円)



※2024年度実績は、2025年度の事業組替を反映し表示していますが、2023年度実績は、簡易的な事業組替により算出した参考数値です。

## 事業方針

- 拡大するエネルギー市場, GX・DX需要をターゲットに成長を追求
- 競争力のある製品のタイムリーな開発
- ものづくり力の継続強化と生産能力増強（エネルギーマネジメント、施設・電源システム）

## 重点施策

### 発電プラント

・脱炭素・再エネビジネスとサービス事業の拡大

### エネルギーマネジメント

・競争力のある製品開発とエンジニアリングでシステム事業拡大

### 施設・電源システム

・国内外IDC・半導体分野での事業拡大

### システムソリューション

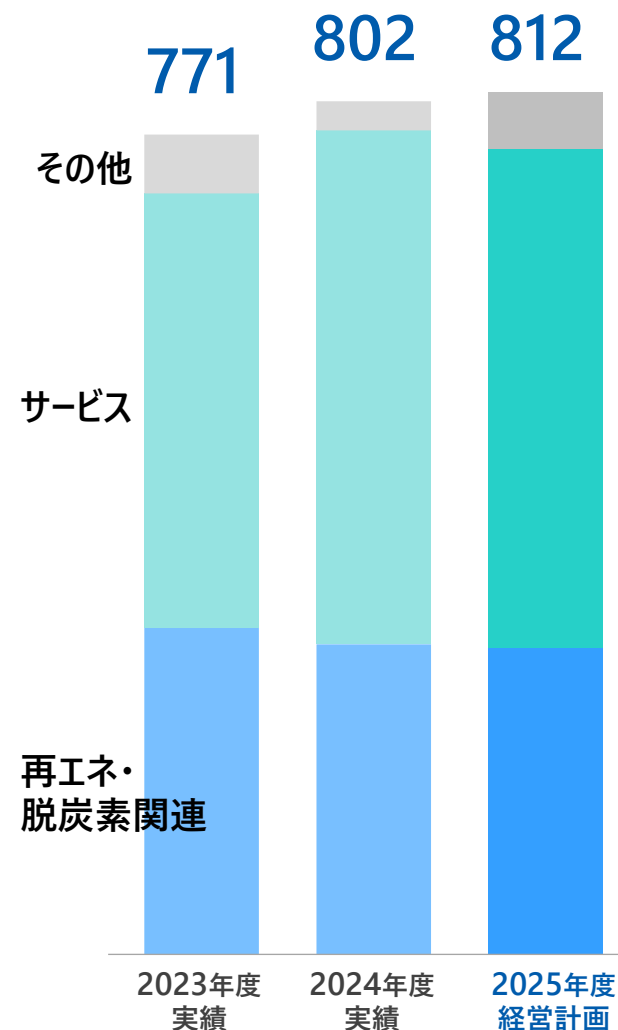
・設備工事との一体運営強化によるシステム事業拡大

### 生産能力増強

・受変電機器の需要増加に対応した生産能力増強

## 発電プラントの売上高推移

(億円)



## 長期脱炭素電源オークション案件を含む脱炭素・再エネビジネス拡大

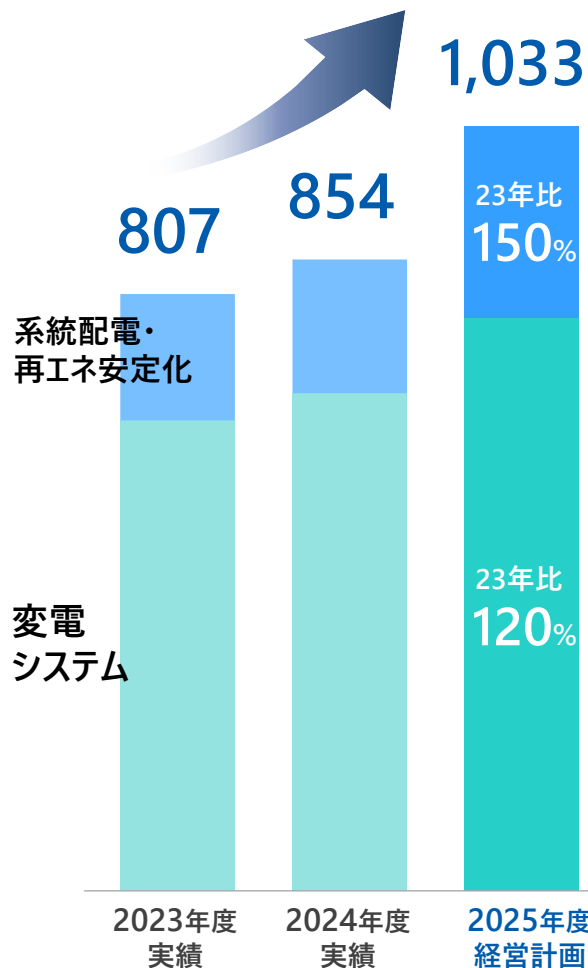
- 地熱分野での取り組み領域の拡大
  - 容量帯拡充による拡販
  - 新商材・機能開発の促進
- 火力・地熱プラント及び核燃サイクル等の大型プロジェクトの着実な推進
- 燃料転換（アンモニア、水素）、水素燃料電池、蓄エネ向け設備、次世代革新炉

## サービスの伸長に向けた商材・提案強化

- 診断技術、周辺機器、補修の拡充などの提案強化
  - 電力需給ひっ迫に伴う設備信頼性向上ニーズへの対応
  - 設備稼働率改善に向けた劣化診断・余寿命診断
- 揚水発電を含む水力発電設備S&Bの拡大

エネルギーマネジメントの  
売上高推移

(億円)

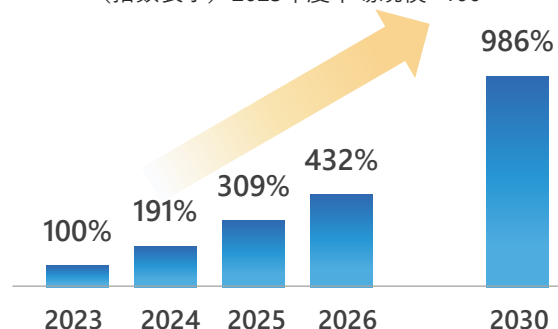


## 蓄電システムを中核に再エネ関連まるごと提案を強化

### ■ 再エネ、蓄電システム、EMSの一括提案

- お客様の工期短縮、脱炭素化を支援し受注拡大

系統蓄電池システムの当社関連市場※  
(指数表示) 2023年度市場規模=100



※第3回GX実現に向けた専門家WG配布資料  
内閣官房 (2023年11月8日) より想定

再エネ関連システムまるごと提案



## 需要が拡大する変電システム事業の強化

### ■ 新製品の早期市場投入による事業拡大

- GX関連、環境貢献製品、グローバル商材

### ■ 更新需要の取り込みによる拡大



145kVグローバルGIS※

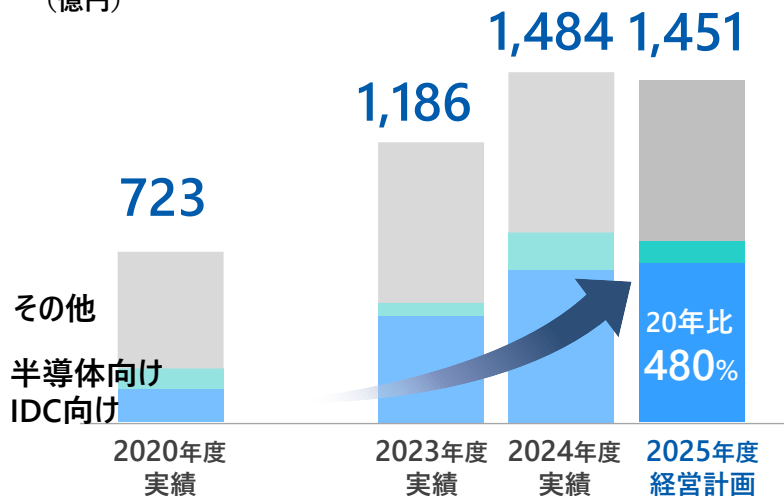


FR3変圧器

※GIS=ガス絶縁開閉装置

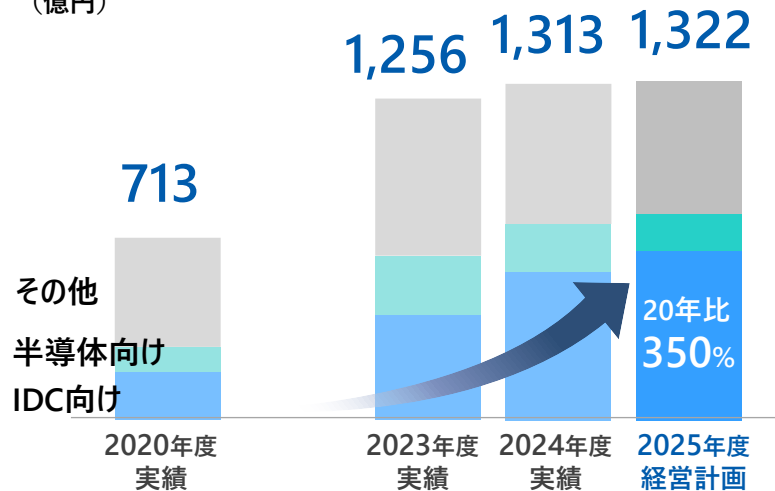
## 施設・電源システムの受注高推移

(億円)



## 施設・電源システムの売上高推移

(億円)



## IDC向けの受注拡大

### 顧客視点の製品開発 × 新技術導入により受注力強化

#### 顧客ニーズ

- ・ 大容量化・省スペース化
- ・ 工期短縮
- ・ 保守性・運用性の向上

#### 製品開発・新技術導入

### ユニット型大容量UPS



- ・ 高密度による小型化
- ・ ユニット化による保守性向上

### スキッドシステム・コンテナ型



スキッドシステム  
(変圧器盤 + 入力盤 + UPS + 出力盤)

- ・ 工場作り込み（組立・試験）による現地工期短縮
- ・ 設備の信頼性向上

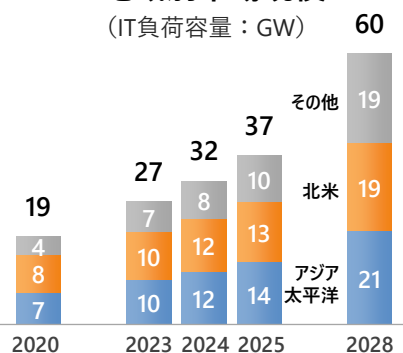
### 北米向けエリア拡大を狙う

#### 市場動向

- ・ IDC設備関連投資は伸長継続

#### IDC地域別市場規模※

(IT負荷容量：GW)



※出典：DATA CENTRE COLOCATION & INTERCONNECTION 2024©STRUCTURE RESEARCH



## 設備工事との一体運営強化によりシステム事業の拡大を図る

### システムソリューション（一例抜粋）

#### IDC向けシステム



#### 再エネまるごとシステム



#### 重点施策

#### ワンストップソリューション強化

- 製品開発・ものづくりから工事・保守・メンテナンスまで一貫したソリューションの提供

#### 伸長分野での協業・物量最大化

- 成長市場・注力業種における双方向の商流・顧客網の活用
- 商談の複合化による案件大型化、優位性訴求での差別化

#### 設備工事 (富士電機E&C)

- 電気設備工事
- 空調設備工事



#### 主な製品

#### クリーンな電気をつくる

- ・地熱発電
- ・風力発電
- ・水力発電
- ・燃料電池
- ・太陽光発電



#### 電気を届ける

- ・変圧器
- ・遮断器
- ・配電盤
- ・PCS



#### 設備を守る

- ・無停電電源装置 (UPS)
- ・監視・制御システム



#### 電気を効率よく使う

- ・エネルギーマネジメントシステム (EMS)
- ・蓄電システム



## 受変電機器の需要増加に対応した生産能力増強を推進

### 電力機器の需要拡大

#### 千葉工場



##### 重点施策

- ・生産製品拡大
- ・品質改善と整流化

(ドライエア開閉装置・水素製造装置用電源  
・トッランナー変圧器)

- ・油入変圧器・モールド変圧器・変換装置
- ・開閉装置 (川崎工場へ移管予定)

#### 川崎工場



##### 重点施策

- ・内製拡大

(生産技術・設備・建屋を最大限活用し  
Gr内物量の内製取込：スクラバ・導体・メッキ他)

- ・蒸気タービン・発電機・大型回転機
- ・水力/原子力関連設備
- ・開閉装置 (千葉工場より移管予定)

#### 生産能力増強

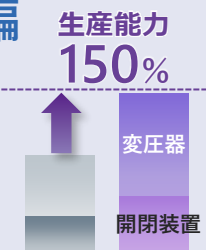
#### 国内生産体制再編

- 対象製品 変圧器・開閉装置
- スケジュール 変圧器

2026年10月増産開始予定

- ・開閉装置

2026年4月増産開始予定



### IDC・半導体向け需要拡大

#### 神戸工場



##### 重点施策

- ・生産製品拡大

(次世代UPS・超大容量UPS・S-PCS  
・新JIS/IEC配電盤)

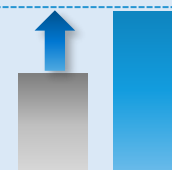
- ・無停電電源装置 (UPS)・配電盤
- ・パワーコンディショナ (PCS)

#### 生産能力増強

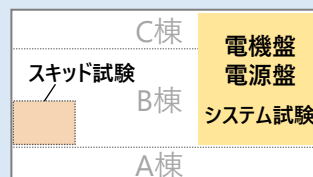
#### 神戸生産棟拡張

生産能力  
150%

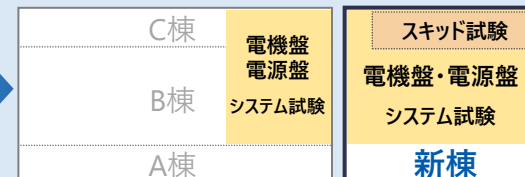
- 対象製品 電機盤・電源盤
- スケジュール 2026年10月稼働予定



#### 生産棟 (現状)



#### 生産棟 (拡張後)



#### 筑波工場

- ・中小・ミニUPS
- ・配電盤

#### FSMBE社 (シンガポール他)

- ・低圧盤
- ・PDU

#### FMT社 (タイ)

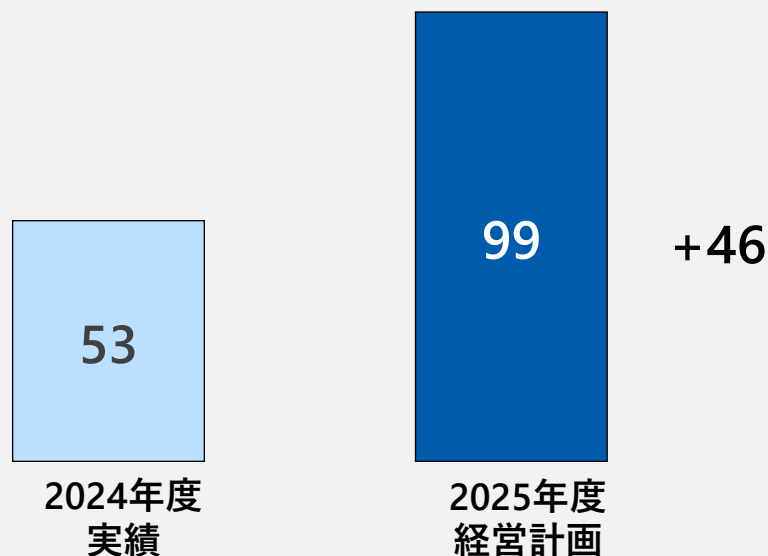
- ・モルトラ・UPS
- ・GIS・配電盤

#### FTU社 (タイ)

- ・変圧器

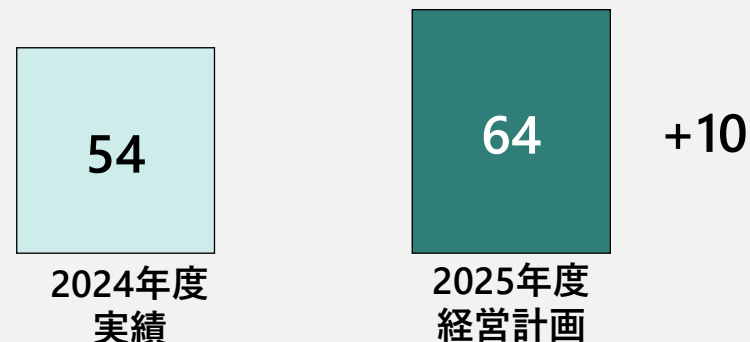


## 設備投資（億円）



- エネルギーマネジメント  
受変電機器の生産設備増強
- エネルギーマネジメント・施設・電源システム  
開発試験設備の更新

## 研究開発（億円）



- 発電プラント・エネルギーマネジメント  
・脱炭素、環境貢献対応商材  
（蓄電池システム、EMS、ドライア開閉装置  
水素燃料電池、水素製造装置用電源）  
・グローバル商材  
（変圧器、モルトラ、GIS、S-PCS、電機盤）
- 施設・電源システム  
・長寿命UPS／次世代UPS系列拡大

※研究開発費をテーマに応じてセグメントに分類したもので、決算短信記載の数値とは異なります。

1. 本資料及び本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があります。弊社、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
2. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
3. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。